

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【公表番号】特表 2020-529859 (P2020-529859A)
 【公表日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-042
 【出願番号】特願 2020-507056 (P2020-507056)
 【国際特許分類】

A 2 4 F 40/46 (2020.01)

A 2 4 F 47/00 (2020.01)

H 0 5 B 3/12 (2006.01)

【F I】

A 2 4 F 40/46

A 2 4 F 47/00

H 0 5 B 3/12 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和 3 年 4 月 5 日 (2021.4.5)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 1
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 2 1】

この少なくとも一つのタバコ・加熱体連結部品は、有利には、丸められた形又はカールされた形で加熱ユニット内に配置することができる。そのようにして、HNB タバコ物品内に存在する構造空間の最適な活用形態を実現することができる。本発明の実施構成では、同じ目的で、特に、同心状に複数のタバコ・加熱体連結部品を加熱ユニット内に配置することができる。この場合、連結部品の電気接点は、有利には、加熱ユニット内の異なる、例えば、対向する周縁位置に配置することができる。それは、空気フロー内における作用物質成分の均一化に寄与することができる。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 6
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 3 6】

HNB タバコ物品 10 の有利な構造が図 5 に図示されている。この実施構成では、円筒体に丸められた二つの連結部品 26 A, 26 Bが使用されている。これらの連結部品 26 A, 26 B は、例えば、半径方向の四つのスペーサー 29 を用いて、有利には、同心状に円筒形の絶縁部品 32 内に保持されている。スペーサー 29 の数は、4 よりも多く、或いは 4 よりも少なくすることができる。スペーサー 29 は、有利には、同じ角度間隔で、ここでは、90°で互いに配置されている。絶縁部品 32 は、HNB タバコ物品 10 の筐体 11 により形成することができる。それに代わって、特に、加熱ユニット 13 が交換可能な使い捨て部分である場合、絶縁部品 32 は、HNB タバコ物品 10 の筐体 11 と別個の部分であることができる。

【誤訳訂正 3】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】請求項 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 1】

前記の少なくとも一つのタバコ・加熱体連結部品（ 2 6 ）が、丸められた形でか、
カー
ルされた形でか、 或いはその両方の形で加熱ユニット（ 1 3 ）内に配置されていることを
特徴とする請求項 1 から 1 0 までのいずれか一つに記載の加熱ユニット。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 2】

複数のタバコ・加熱体連結部品（ 2 6 A , 2 6 B ）が、特に同心状に、加熱ユニット（
1 3 ）内に配置されていることを特徴とする請求項 1 1 に記載の加熱ユニット。